

未だ参つては居らぬ

西南諸省で長期抗戦

奥地遁入の國府遠ぼに

(重慶廿六日) 當地漢字紙は最近若間に流布されるる支那の和平希望説に對し不滿の意を洩らし、更に日本在してゐるが根本方針として、和平であることは總てを第三國が如何なる態度を示しても廣東、漢口陥落後も依然重慶に止まることに意見が一致し且暮政權の將來の進歩をき動向につき出来るだけ詳しく述べる。現忠告しようといふにある。現在の所先日の會議に關するコニミニケは公表され得るなが、長期抗戰を繼續するに就いて仄聞するところによればその理由は大體次の通りである。

米の銀買上げで

國府僅かに命をつぐ

金融界は手を出さず

(ワシントン二十六日) 確實な筋の情報によれば廣東及び漢口が豫想外に早く廣落した結果、廣東在中の陳光甫以下

の支那財政筋が米國内で大規模の借款を得る可能性は殆んど皆無となるといはれる。

米國の金融界では日本軍を悉く手中に收め支那經濟を窒息させてしまつたのをみて支那に借款を與へることは長い眼から見ても到底健全な投資とはいへぬと尤も米國政府が今後も銀買上を繼續する可能性はある。

支那は其の通貨政策に影響を及ぼさぬやうな方法

新興支那誕生の宣言

防共盟國への參加

東方會、政府に斷行を要求

駐支新佛國大使洪國かへ轉任す

（東京廿七日）駐支フラン

ス大使ハラム博士出後任

（東京廿六日）ハバス東方會の立場から政府が各國に對するに就てはわが支那政府は於ては廿六日現ハ

ト駐支中等公使に昇任

（東京廿六日）緊急總會を開催漢之左の政策を即時断行せられることを決定した

（東京廿六日）緊急總會開催漢之左の政策を即時断行せられることを決定した

